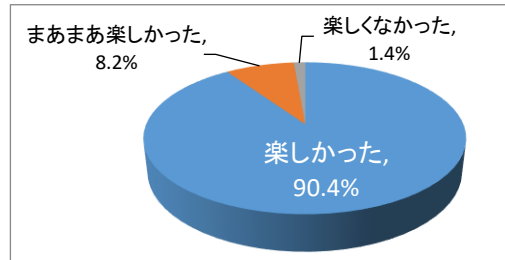


【刈谷市立富士松東小学校】ポッチャ体験教室アンケート結果(児童用)元.11.13  
 [回答者数:73名]

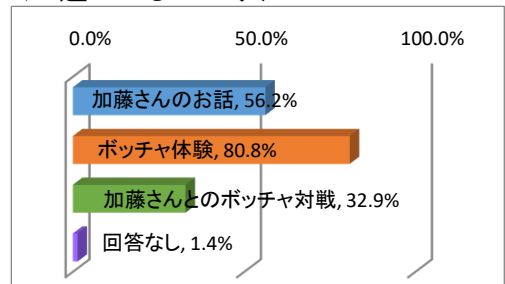
1. ポッチャ体験教室は、楽しかったですか？

楽しかった	66名	90.4%
まあまあ楽しかった	6名	8.2%
楽しなかった	1名	1.4%



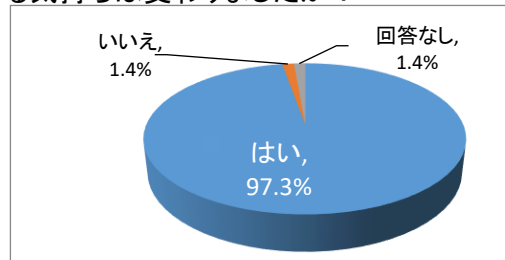
3. ポッチャ体験教室で、楽しかったのはどれですか？(いくつ選んでもOKです)

加藤さんのお話	41名	56.2%
ポッチャ体験	59名	80.8%
加藤さんとのポッチャ対戦	24名	32.9%
回答なし	1名	1.4%



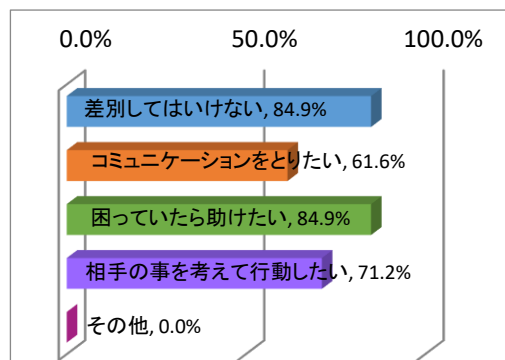
5. ポッチャ体験教室に参加して、障がいのある人に対する気持ちは変わりましたか？

はい	71名	97.3%
いいえ	1名	1.4%
回答なし	1名	1.4%



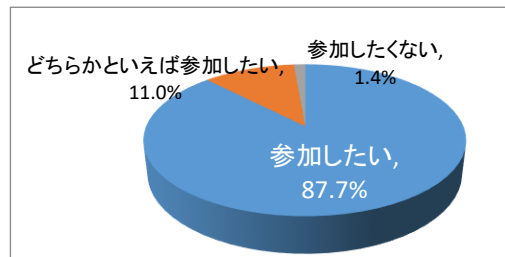
6. 5で「はい」と答えた人に質問します。障がいのある人に対してどのような気持ちを持つようになりましたか？(いくつ選んでもOKです)

障がいのある人を差別してはいけない	62名	84.9%
障がいのある人とコミュニケーションをとりたい	45名	61.6%
障がいのある人が困っていたら助けたい	62名	84.9%
障がいのある人を含めて相手のことを考えて行動したい	52名	71.2%
その他	0名	0.0%



7. また、ポッチャ体験教室に参加したいですか？

参加したい	64名	87.7%
どちらかといえば参加したい	8名	11.0%
参加したくない	1名	1.4%



※以下、回答内容は原文のままです。

(児童用)

2. 1で「楽しくなかった」と答えた人に質問します。楽しくなかったところは何でしたか？

- 興味がなかったから。

4. 加藤さんのお話の中で、心に残ったことを教えてください。かった。

- 私は1%の可能性を信じ、最後まであきらめないという所が一番心に残りました。
- 1%の可能性を信じて、かなうまであきらめない、を私にもできるので、これから1%の可能性を信じて何事にもチャレンジ。
- 1%のかのうせいをあきらめないでということば。
- 障がい者で大学へ行く人は少ないけれど、加藤さんは福祉を学ぶため、かの女をつくるために行ったことが分った。  
1%の可能性にちょう戦しつづけること。
- 1%の可能性がある→挑戦する。
- 1%の可能性のことです。自分も信じてがんばろうと思いました。
- どんなことでも、あきらめないこと。  
失敗するのも良いこと。
- 障がい者の方はとても苦労しているのだなと分り、優しく接してあげようと思いました。
- できるから、やるのではなく、やりたいなと思ったことを、失敗を恐れず挑戦してください。と言われたことです。
- 席をゆずらない人がいる。田んぼにおちたこと。
- 電車などで席をゆずってくれなかった人がいたということです。(優先席) 私はこのお話を生かして、これからは電車以外でもバスなどで席をゆずってあげたいです。
- ヘルパーがついて、一人暮らしをしているとっていて、すごいなと思った。
- 失敗をおそれず、挑戦してみることが大事だということ。
- 失敗したって大丈夫というのと過去のことより未来を考えるということが心に残りました。
- 障がいがあってもあきらめなければなんと失ばいしても、いつかねがいがかなうこと。
- 加藤さんが1人ぐらしというお話です。
- 何事にも1%の確率だけでもちょうせんすることが大切ということが心に残りました。
- しょうがいなんてかんけいない、人間は人間です。
- 障がい者は、いつもこまっいて、いつもヘルパーがいるとして改めて、大変だなと思いました。
- 1%のかのうせいでもあきらめずに加藤さんがとりくんでいるところ。
- 1%の可能性をしんじて最後まであきらめないこと。
- 何ごとにもちょうせんしているという所が心に残った。
- 障がいのある人の気持ちをまず自分で考えてから行動にうつすことが大切だとわかりました。
- しっぱいしてもがんばること。
- 障害者の人だってみんなと同じ人間だということ。
- 優先席やエレベーターなどで、とても困っていること

- 可能性が少しでもある限りちょう戦する。失敗は何回してもいい。失敗することよりちょう戦しなかったことにこう悔する。
- 失敗は何度しても成長するから、たくさん失敗をすること。
- 人はそれをちょうせんしてたとえ失敗してもあきらめないでやるということが大切というところ。
- 自分がやりたいと思っている事は何でもちょうせんして、失敗はしても良いということです。理由は、こわくて出来ない、失敗をしようと思うと出来ない事が自分にたくさんあるからです。
- 1%の可能性を信じて挑戦し続けるというところ。
- 1%のかのう性を信じているということ。
- 1%の可能性があれば諦めない！！
- しっぱいは何回してもいい。ちょうせん。
- 1%の確率でも挑戦すること。
- どんどん挑戦する。失敗ははずかしくない。
- しょうがいの人々がどれだけ困っていて、ときには、すごいことをしていて、しょうがいしゃってすごいなと思いました。
- 障害者はほかのみんなとはちがうけれど、みんなが手助けしてくれたら、障害者もいい気持ちになれる。
- しょうがいの方は、一人でできないことが多くて、大変だけど、できるようにするために、努力しているのだと思いました。
- みんなに無理と言われてもあきらめなかったこと。
- ボッチャはだれでも出来るスポーツ。
- 「ちょうせんを何度でもしよう。」という言葉。
- 「障がい者なんて関係ない」というところはすごく心に残ってます。
- とちゅうであきらめないこと。
- 1%の気持ちがあれば夢がかなうということに心に残りました。
- 障がいをもっていてもちょうせんすることはだれにでもできる。
- 「かこはどうでもいい、いまできることを考える」や「1%のことでもちょうせんする」が心に残りました。
- 人それぞれみんなちがうこと。
- まわりに無りだといわれても、やってみる、1%の可能性があれば、ちょうせんするというところ。
- 昔はどうでもいい今からだ！
- 障害の人の希望は1%しかないということなど、たくさん困っていることを聞いて、私も少しは手伝えることをしたいと思ったり、障害者の人はすごくがんばっているんだということが分かりました。
- 最後まであきらめずにちょうせんしつづけることです。
- 障がいの人でも、障がいのない人でも、ボッチャをできるということが心にのこりました。
- 電車やエレベーターで困っているとしたので、助けてあげたいです。一人ぐらしをされていてすごいなと思いました。
- ゆめにきぼうをもってすすむのが大切。
- 1%の可能性があれば、いろんな事にチャレンジすることができると分かりました。
- 「1%の可能性」
- 加藤さんのボッチャで優勝するという思い。

- いろいろなことに困っていても可能性は1%もあるから何でもちょうせん。
- 1人1人がちがってもいいということ。
- しょうがいしゃでも人間はいつしよだと知った。
- 1%の可能性でも挑戦しつづける。
- 差し絵やエレベーターの話。
- 大学へいくために勉強したこと。
- 1%の可能性があればあきらめないところ。
- しょうがいしゃの人でもみんなと同じように生きれること。
- パラリンピックに出たこと。
- がいのある人でも楽しめること。

8. 7で「参加したくない」と答えた人に質問します。その理由は何ですか？

- あまりルールがわからなかった。

自由に感想を書いてね

- 私は、ボッチャは少しむずかしいけれど、障害がある人もない人も楽しめるスポーツだと思いました。私は、ボッチャを通して、障害がある人やパラリンピックスポーツについて学ぶことができました。加藤さんの話を聞いて、障害のある人が困っていたら助けてあげたいと思いました。
- 私のおじいちゃんも障がいがあります。なので加藤さんの話を聞いてると自分のおじいちゃんがもしエレベーターを1人で乗るとこんな風にされてしまうと考えると、とてもつらかったです。今回のボッチャ体けんで、おじいちゃんもいつしよにできそうなので、きかいがあればやってみたいです。
- ボッチャというのはいままで、障がい者だけのスポーツだと思っていたけれど、今回の体験を通して、僕たち、障がいがなくとも夢中になれるスポーツだということが分りました。
- ボッチャを初めてやりました。ボッチャのボールは思ったより重く思ったよりころがるので思ったところに飛ばすのは難しかったです。みんなで楽しく盛り上がるのでまたやりたいと思いました。
- 自分の可能性を信じてがんばりたいと思います！
- 加藤さんのお話がとってもおもしろかったです。ボッチャで試合をしたときに、楽しかったです。
- 今日は遠いところからわざわざぼくらの学校まで来てお話を聞かせてくださった上にボッチャの体験をさせていただき、ありがとうございました。ぼくは 4 にも書いたとおり、やさしく接してあげようと思いました。今回は本当にありがとうございました。  
【障がい者の方はとても苦労しているのだなと分り、優しく接してあげようと思いました。】
- ボッチャなど、スポーツをとおして、人と人が仲良く楽しくできると思いました。1人1人の個性を大切にしたいです。
- ぼくは、この加藤さんの話をきいて、しょうがいしゃはとてもみじかな人みたいでした。
- わたしは障害者だからといって差別してはいけないということを知りました。加藤さんとボッチャをやって、障害があるなんてことを忘れてとても楽しむことができたのでよかったです。

- 2組にボッチャでストレート勝をしたのでうれしかったです。9-0でかてました。
- 今回ボッチャを体験させてもらいました。私は、ボッチャが4回目です、ボールをもった時、前にやったボールよりも軽い気がしました。加藤さんのお話で「障がい」というもをもっている、私たちが人間ということは変わらず、ふつうの人のように接してほしいと言っていました。このお話で、改めて障がいをもっている人に対しての行動を考えようと思いました。今日ボッチャをして、パラリンピックのせいしき種目で、だれでも簡単にできる楽しいスポーツだと分かりました。だから、障がい者の人でも楽しめて、いいスポーツだと思います。ルールも簡単だったので、またやりたいと思いました。今回、加藤さんのお話とボッチャをして、加藤さんとのボッチャで対戦した時、相手のボールの位置を生かして自分のボールをなげることがすごいと思いました。絶対勝てないと思ったけど、ワクワクしてドキドキしておもしろかったです。今日のボッチャで、また新しいボッチャを知って、家の人や友達にボッチャってこんなにすごいんだよって教えてあげたいです。障がいを持っている人に声をかけたり、手伝ってあげたりして少しでも生活がしやすくなるように行動ができるようになりたいです。今回はボッチャを教えていただき、ありがとうございました。
- ボッチャは障害者の人以外でも楽しく夢中して取り組めることが出来てとても楽しかったです。実際に見てすごいと思ったしとても白いボールの近くで止まるのでびっくりしたし、すごいと思いました。実際やってみてとても難しかったけどとても楽しかったです。
- ボッチャを体験してみて、だれでもかんたんにできると言うことが分かりました。
- ボッチャはなんとなくしか知らなかったけど今日でとてもおもしろいスポーツだなと思えました。今日はありがとうございました。
- ボッチャを初めて体験して思ったことは、ボッチャはだれでもできてルールもおぼえやすいなあと思いました。障がいの人に対する、せし方が少しでも自分の中で変わったので、とても良い機会だなと思いました。
- みんなや障がいの人大人がボッチャのすばらしさをきずけるようになってほしいです。
- 障がいがある人がいたら、声をかけてたすけてあげる。
- ボッチャはだれにでもできるスポーツでみんなでやると、いっしょに楽しむことができるから、もっとやりたいと思いました。
- とても楽しくて、こんなに楽しいスポーツがあったのかって思いました。また加藤さん、パラリンピック出場にむけてがんばってください！
- ボッチャはあまりしなかったけどたのしかったです。
- 私は初めてボッチャをやってみたけど意外とむずかしかったです。でもボッチャはいろいろな人ができるし、とても楽しかったのでまたやってみたいなと思いました。
- 加藤さんのお話で優先席やエレベーターでゆずったりしてくれなくなっていることが分り、みんな同じひとなんだからゆずりたいなと思います。1%でも可能性をあきらめないことを学びました。
- きちようなボッチャの体験はとても楽しかったです。また、楽しかっただけでなく、障害を持った人でも関係なく楽しめるということが分かりました。
- ルールなどを分りやすく説明してくださったり加藤さんとのボッチャ対戦で、やっぱり日本代表はハンディがあってもとても強くてすごいと思いました。
- ボッチャは、自分の体が上手に動かなくても楽しめるスポーツだと分かりました。

- ボッチャは、見てるとかんたんそうだなと思ったけど、いざやるとコントロールがすごく難しく、ボッチャの対戦ではひきわけになっちゃいました。そう思うと、加藤さんは本当にすごい人なんだなと思いました。  
2020年パラリンピックで出場すると願ってます！ これからもボッチャや生活等がんばってください！！
- ぼくは、パラリンピックを見て、加藤さんを応援して、パラスポーツを見てくわしくなりたいと思いました。
- ボッチャを知るだけでなく、お話を聞いて障がいのある人についても知ることができてとても楽しかったです。
- どんな人でも楽しめるスポーツがボッチャであり、それはみんなの心をスポーツでつなげるものだと思います。
- ルールはむずかしかったけど、楽しめてよかった。
- ボッチャには、そんなにルールはむずかしいものがなく、すごくわかりやすくてのしかったです。またボッチャをやりたいと思いました。さらに今回のことがあり障がいのある人への思いがわかり、よかったです。
- 加藤さんと、1対1ではなしてみたい。ボッチャを友達で楽しむことができました。ありがとうございました。
- ボッチャの体験をしてみて、とても楽しかったです。また参加をして加藤さんに勝ちたいと思いました。加藤さんががんばってください。今日はありがとうございました。
- 障害者では自由にできたなったりするかもしれませんが、パラリンピックなでのきょうぎができるようになって、とてもいい気持ちになったと感じました。
- ボッチャ体験で、加藤先生との対戦に、とても盛り上がって楽しかったです。
- とても楽しかったので、ありがとうございました。また、障がいのある人と遊んでも楽しいと分かりました。
- ボッチャはとても楽しく、だれにもできるスポーツということが分った。
- とても楽しかったです。私も1%の可のうせいを信じて、ちょうせんをたくさんできたならと思いました。
- だれでもできるかんたんなスポーツで、ルールも分りやすく、たのしかった。
- いろいろな人がいるけれど人としてはかわらないのでまた参加したいです。
- このボッチャ体験教室ではだれにでもできているほうもやているほうも楽しくなると分かりました。
- 加藤さんは、いろいろなことをたいけんしてすごいと思いました。いろいろな教えてもらったことをわすれずに、これからの生活に生かしたいです。
- しょうがい者でも自由にスポーツできるのはすごいことだなと思いました。
- 見てるときよりも、ボールにあてるのがむずかしくて、ボールがいがいいにおもったのが少しびっくりしたけど、楽しかったです。
- すごく楽しかったです。ボッチャは障がいがある人もない人もたのしめるスポーツだと分かりました。
- 今日のボッチャ体験教室で、ボッチャを楽しみながら、障害者の人について学べてよかったです。障害者の人がとてもがんばっていることを知れたので、今日のことをわすれずに、私がかんばっていけるようにして生かしていきたいです。
- ぼくは、ボッチャの体験をして、体に障がいのある人たちの気持ちや、どうゆう風にボールをなげて

いるのかと気になったけど、実際に加藤さんのなげかたを見て、坂のようなものを使うんだなあと思いました。

- 自分は1回もボッチャをしたことがなくて、じっさいにたいけんをしてみたら、またやりたくなるぐらい楽しかったです。
- 加藤さんのお話を聞いて、障がいのある人は生活の物事でもだれかに手伝ってもらわないといけないから、もし外で障がいの人を見かけた助けてあげるようにしたいです。
- 障がいがある人でも同じように接していきたいです。  
ボッチャを体験してみて、ボールを近くによせるのはむずかしかったけど、加藤さんは、近くに行ることができてすごいなと思いました。
- ぼくは、いがいとたのしくてわかりやすかったので、またやりたいです。
- 障がい者でも1%の可能性があれば、何事にもチャレンジすることができ、努力した先には、心からチャレンジして良かったと思えるような結果になると分かりました。
- ボッチャは楽しくさらにルールもかんたんだったからまたやってみたいと思いました。
- 私は加藤さんがボッチャをしているのを見て、障がいがある人は物事でできないことは多いかもしれないけど、がんばる気持ちは人よりたくさんあると分かってすごいなと思いました。
- しょうがいの人でもボッチャができることが分かりました。また、参加したいです。
- ボッチャというものをしりそして障がいをもっている人の生活をしりでも差別などはしていけないことが分かりました。ぼくは加藤みたいにならなしてみたいです。
- ボッチャは障がい者の人との差別なくプレイできる良いスポーツだと思いました。
- 力かげんがむずかしかったけどまりやりたいです。
- 加藤先生の話はとてもためになりました。どんどん挑戦していきたいです。ボッチャを体験してだれでも楽しめるものだと分かりました。
- ボッチャがとても楽しかったです。とても難しかったけど楽しかったです。力かげんが難しかったです。わたしがなげたボールが白のボールの近くにいてうれしかったです。
- 加藤さんのかの女のはなし、おもしろかったです。
- ボッチャとてもたのしかったです。
- 障害者への意識が変わった。
- ボッチャのしかたをしらなかつたけどやってみて分つたしとても楽しかった。
- ボッチャはみんなで力を合わせてやると、こんなに楽しくて、盛り上がるのが分つたので、またやってみたく思ったし、パラリンピックのボッチャを見てみたいと思いました。
- 加藤さんはきよりをだいたい目を見て言っていてすごいと思いました。
- ぼくは「ボッチャはどんなのかわからなかつたけど、やってみて少しわかりました。だれでもやれていいなと思いました。

# 【刈谷市立富士松東小学校】ボッチャ体験教室アンケート結果(教員用)元.11.13

[回答者数:2名]

## 1. ボッチャ体験教室の内容は、いかがでしたか。

### 【加藤氏の講話】

良かった	2名	100.0%
どちらかといえば良かった	0名	0.0%
良くなかった	0名	0.0%



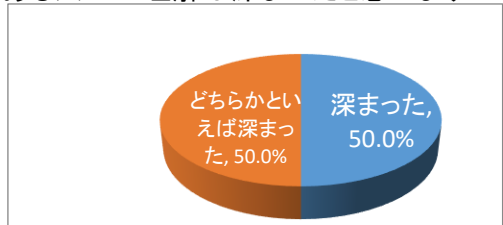
### 【ボッチャ体験】

良かった	2名	100.0%
どちらかといえば良かった	0名	0.0%
良くなかった	0名	0.0%



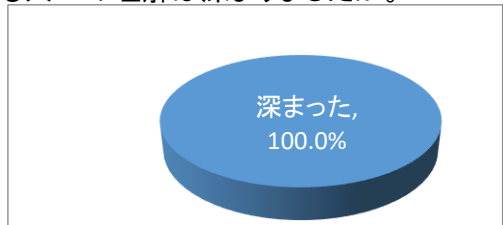
## 2. ボッチャ体験教室を通じて、参加した児童の障がいのある人への理解は深まったと思いますか。

深まった	1名	50.0%
どちらかといえば深まった	1名	50.0%
深まらなかった	0名	0.0%



## 3. ボッチャ体験教室を通じて、教員の方は、障がいのある人への理解は深まりましたか。

深まった	2名	100.0%
どちらかといえば深まった	0名	0.0%
深まらなかった	0名	0.0%



## 4. 人権擁護委員の存在を知っていましたか。

知っていた	2名	100.0%
聞いたことはあった	0名	0.0%
知らなかった	0名	0.0%

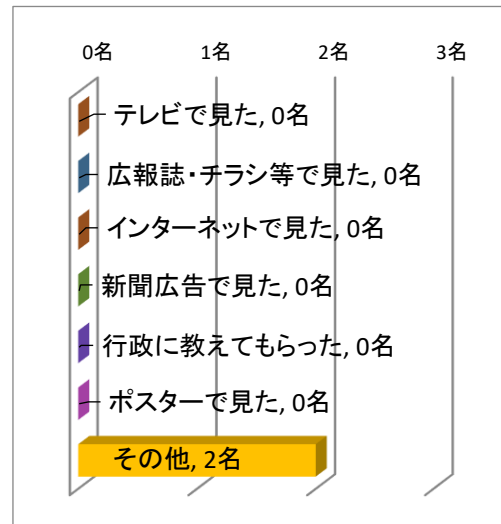




5. 4で「知っていた」と回答した方にお尋ねします。どのようにして知りましたか。

(複数回答可)

テレビで見た	0名	0%
広報誌・チラシ等で見た	0名	0%
インターネットで見た	0名	0%
新聞広告で見た	0名	0%
行政に教えてもらった	0名	0%
ポスターで見た	0名	0%
その他	2名	100%



6. 今後もポッチャ体験教室のような人権啓発活動を行うべきだと思いますか。

行うべき	2名	100.0%
どちらかといえば行うべき	0名	0.0%
行わなくてよい	0名	0.0%



※以下、回答内容は原文のままです。

(教員用)

5. 4で「知っていた」と回答した方にお尋ねします。どのようにして知りましたか。

【「その他」の回答内容】

- 地域の方(子どもの保護者)でいたので
- 実際に学校でみて

7. 今回のポッチャ体験教室についての感想や改善点、児童にさせたい障害者スポーツについてなど、ご意見をご自由にお書きください。

- 加藤さんの講話を通じて、子どもたちが「もっとコミュニケーション」をとりたい！ という声があがっていました。有意義でした。ありがとうございました。
- とても良い体験をさせていただきありがとうございました。子ども達がとても興味を持ち、誰でも楽しめるというところが良いと感じていました。定期的開催されるものになればいいと思います。